

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス八街教室			
○保護者評価実施期間	R8年2月9日		～	R8年2月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	R8年2月9日		～	R8年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月21日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの発達段階や特性、興味関心を踏まえた支援を大切にしており、職員間で日々情報共有を行いながら支援を行っている。また、運動療育を中心とした活動を通して、子ども達が楽しく身体を動かしながら成功体験を積み重ねることで、自己肯定感や社会性の向上につながる支援を行っている点が事業所の強みである。	子ども達が安心して活動に参加できるよう、職員同士で情報共有を行いながら支援を行っている。また、運動活動だけではなく、季節の行事や制作活動、外出活動など様々な経験の機会を取り入れることで、社会性や日常生活動作の向上につながる支援を行っている。活動内容については職員間で話し合いながら工夫し、子ども達が楽しく参加できる環境づくりを心掛けている。	それぞれのお子様の発達段階や興味関心を踏まえながら支援内容を検討し、運動療育や様々な体験活動を通して社会性や生活力の向上につながる支援を行っていく。また、保護者や学校、関係機関と連携を図りながら、子ども達の成長を支える支援体制の充実を図っていく。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員全員が参加できる研修や学びの機会を十分に確保することが難しい場合がある。	日々の支援業務や送迎業務等がある中で、職員全員の時間を調整し研修の機会を設ける事が難しい場面がある。	職員の専門性向上のため、外部研修や内部研修の機会を活用するとともに、職員間での事例検討や情報共有の機会を設け、支援の質の向上に努めていく。
2	保護者との情報共有や支援内容の伝達について、より丁寧な説明や共有が必要な場面がある。	日々の送迎時や連絡帳でのやり取りが中心となるため、支援内容や子どもの様子を十分に伝えきれない場合がある。	連絡帳や送迎時のやり取りだけではなく、必要に応じて面談や電話連絡なども活用し、保護者と情報を共有を図りながら安心して利用していただける支援体制に努めていく。
3			